

生物多様性なごや戦略実行計画2030の推進



ネイチャーポジティブの実現に向けた「2030年までの重点方針」

- 重点方針 1 生物多様性に配慮したまちづくりの推進
- 重点方針 2 社会変革につながる取り組みの促進
- 重点方針 3 自然と共生する人づくり
- 重点方針 4 生物多様性保全の拠点・ネットワークの強化

なごやネイチャーポジティブ宣言

名古屋市では、市街地の拡大に伴い、生きもののすみかが縮小し、身のまわりで見かける生きものの数や種類もだんだんと少なくなっています。

地球規模でも、生きものの絶滅は急速に進み、生物多様性は失われ続けています。その現状を受け、世界は、生物多様性の損失を反転させて回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」を2030年までのミッションに掲げ、大きく動き出しました。

かつて名古屋市は「ごみ非常事態宣言」を発表し、市民・事業者の皆さまとの協働により、大幅なごみ減量を実現し、渡り鳥の飛来地である藤前干潟を保全しました。私たちの暮らしと生きもののいのちを共に守ることを目指したこの取り組みは、本市の環境行政の転換点となりました。

そして「今」、地球の豊かな生物多様性を次世代に継承し、未来を守るための転換点を再び迎えています。

名古屋市は、以下の4つの方針のもと、ネイチャーポジティブの実現を目指すことをここに宣言します。

1. 豊かな生態系ネットワークを形成するため、残された貴重な自然を保全・再生するとともに、都心部においても生物多様性に配慮した緑化に取り組むなど、都市ならではの生物多様性に配慮したまちづくりを進めます。
2. 名古屋を含めた世界中の生きものの恵みを持続可能なかたちで利用するため、生物多様性に配慮された市民生活や事業活動が浸透した社会の実現を目指します。
3. 生物多様性の大切さに気付き、具体的な行動に移す人が増えるよう、自然と親しむ機会の提供や、日常生活の様々な場面をとらえた普及啓発などを通して、自然と共生する人づくりを進めます。
4. 生物多様性の保全と持続可能な利用を継続的に進めるため、生物多様性の取り組みに関わる人たちのつながりを支援するなど、ネットワークを強化します。

令和5年10月28日

名古屋市長
河村たかし